

## 志賀原子力発電所 2号機 試験運転中の出力降下について

平成20年4月1日  
北陸電力株式会社

当社志賀原子力発電所 2号機は、本日（4月1日）、22万6千キロワットにて試験発電中に、出力を17万5千キロワットまで降下させましたので、お知らせいたします。

志賀 2号機は、3月26日に原子炉を起動し、本日試験的に発電を開始し22万6千キロワットで運転中、11時9分に気体廃棄物処理系<sup>1</sup>「排ガス除湿冷却器出口水素濃度高」<sup>2</sup>警報が発生したため、気体廃棄物処理系の流量調整を行うとともに、11時46分から出力を17万5千キロワットまで降下させたところ、水素濃度が低下し、警報が解除されました。

外部への放射能の影響はありません。

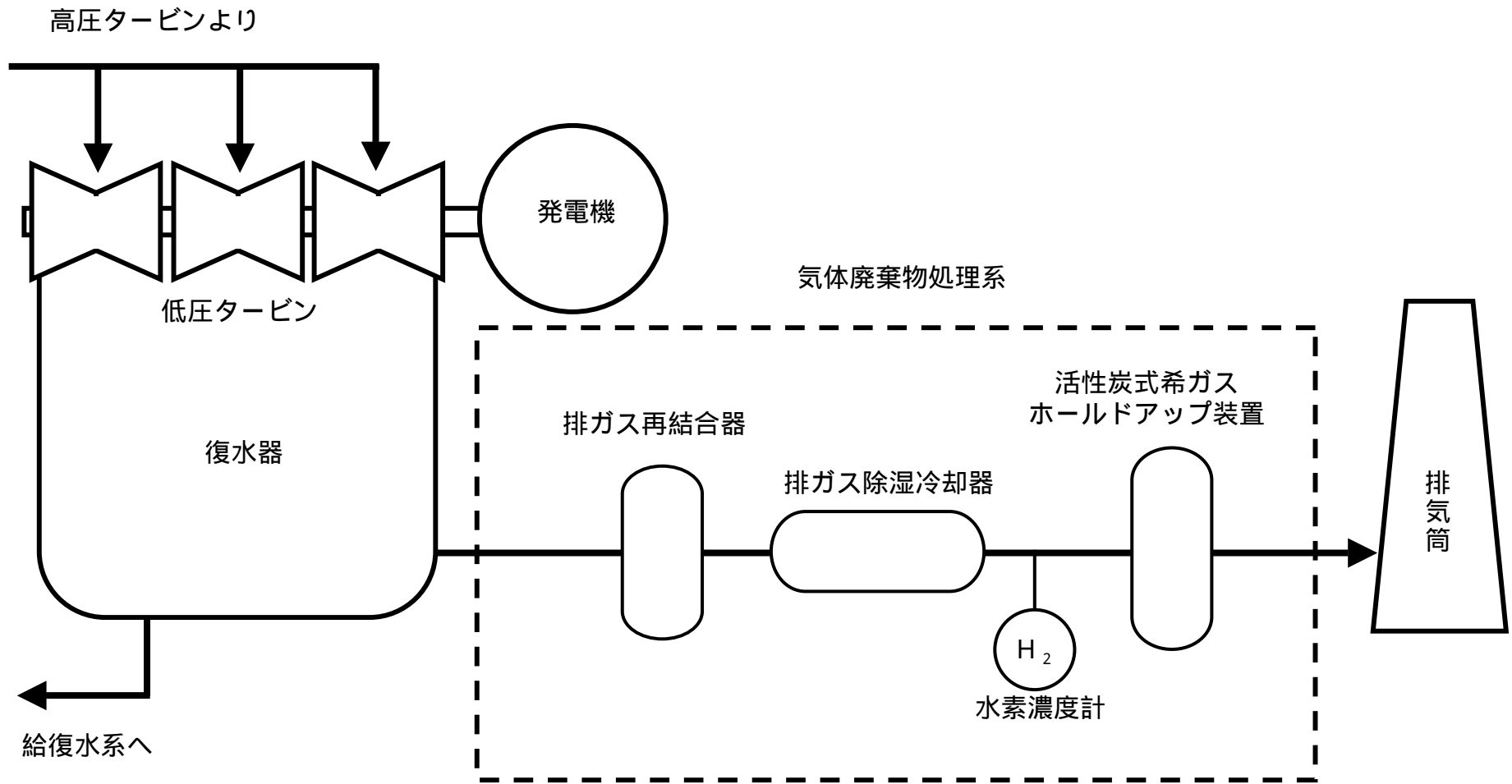
今後、安全を最優先に原因を究明してまいります。

本件については、石川県、志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、「発電機の出力変化が必要となった時」には連絡することになっているため、お知らせしたものです。

- 1 気体廃棄物処理系  
復水器に流入する気体状の放射性物質を減衰させる系統。
- 2 「排ガス除湿冷却器出口水素濃度高」警報  
排気する気体中の水素濃度を監視するためのもの。  
(除湿冷却器出口の水素濃度が2.0%以上で高警報が発生)

以上

(別紙) 志賀原子力発電所 2号機 気体廃棄物処理系 系統概要図



志賀原子力発電所 2 号機 気体廃棄物処理系 系統概要図